

第6次塩竈市長期総合計画を議会に提案しました

第6次塩竈市長期総合計画は令和4年度からの新たなまちづくりの指針となるものです。市民の皆さんと一緒に作ってきたこの計画を9月に開催した市議会に提案しましたので、その内容をお知らせします。

10年後の目指す都市像

これまで塩竈は、海をはじめとした自然、そして豊かな歴史や文化を背景として人々の暮らしが生まれ、魅力ある港町として発展してきました。

市民まちづくりワークショップにおいて、楽しみながらこれからもこのまちで暮らしていきたいという想いにあふれた「塩竈らしい100の暮らし」をまとめていただきました。

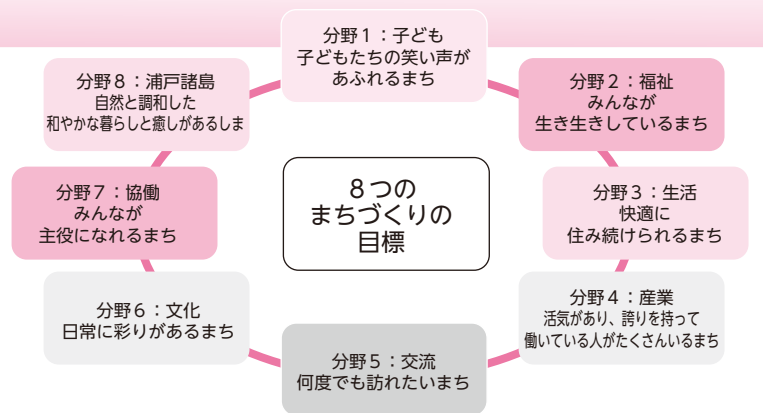
まちのいたるところに「塩竈らしい楽しい暮らし」が広がり、市民の皆さんの笑顔があふれる塩竈を未来につないでいくという想いを込め『海と社に育まれる楽しい塩竈』を目指す都市像に掲げています。



まちづくりの目標

『海と社に育まれる楽しい塩竈』の実現に向けて、まちづくりの目標を8つの分野に掲げました。

子どもの分野の「子どもたちの笑い声があふれるまち」から、浦戸諸島の分野の「自然と調和した和やかな暮らしと癒しがあるしま」までの8つの目標の達成に向けて、分野横断的にさまざまな取り組みを展開していきます。



将来人口を50,000人に設定

将来人口について、令和2年の住民基本台帳人口を基準に推計を行いました。

その結果、計画の目標年度である令和13年の人口は約48,000人と推計され、令和3年と比較すると約5,000人が減少し、その中でも特に年少人口と生産年齢人口の減少が大きいことが見込まれました。

このことから、「子育て世帯の移住・定住の促進」と「子どもを産み育てやすい環境を整える」ことを施策の軸として展開していくこととし、令和13年の将来人口を50,000人と設定しているものです。

